



# 2019 女子ハンドボール 世界選手権大会

24th IHF WOMEN'S HANDBALL  
WORLD CHAMPIONSHIP KUMAMOTO/JAPAN 2019



## 戦況用紙

開催日	2019年 12月 8日 日曜日	試合コード	#62
開催地	(都道府県名) 熊本県	会場名	パークドーム熊本

結果	A	スコア		B
	MNE	30	前半 14-11	26
	後半 16-15			
	第一延長前半 —			
	第一延長後半 —			
	第二延長前半 —			
	第二延長後半 —			
	7mc —			
	—			
	—			
Montenegro (モンテネグロ)				

戦況	見出し	MNEが粘るJPNを突き放して勝利
	前半	D組3位のJPNとC組2位のMNEの一戦は、MNEのスローオフで開始。立ち上がり、MNE4の7mTで先制。MNEはRW4の2得点目で2-0とリードする。共にGKの好守があり、3分30秒にJPN27が決めて2-1となる。JPNは6-ODFで、MNEの高い攻撃陣を守る。6分過ぎには、JPNに退場者が出て、7mTをMNE4が確実に決めて3-1と2点ビハインド。JPNのGK30がファインセーブするが、MNEから得点を奪うことができない。8分過ぎには、JPN81をCBIに投入するが、MNE5-1JPNとリードが広がる。JPN27が2得点目のミドルシュートを決めても、リスタートで返される。更に速攻を決められ、10分22秒7-2と5点差になったところでJPNがタイムアウト。CPを7人にして、JPNのRB4のカットインで7-3とする。12分JPNは3-2-1DFにシステムチェンジして、RW7の速攻で8-4と迫る。15分を過ぎても、MNEの高い壁のようなDFが崩せず、シュートチャンスがつかれない。16分45秒にJPNのLW13が決めるが、MNEもリスタートで取り返す10-5と点差が縮まらない。MNE77が退場している間に、JPN81がカットインで飛び込み10-7と3点差になる。残り10分を切り、JPNのLB41がミドルシュートを決め、12-9とする。25分には、CP7人で攻めるJPNのバスケットしたMNEがタイムアウトを申請。28分30秒にJPN15のカットインが決まり、13-10と追い上げる。終了間際にJPN81の見事なシュートが決まってMNE14-11JPNで折り返す。
後半	3点を追いかけるJPNのスローオフで、後半30分の開始。JPN5が退場中で、GKを下げCP6人で攻め、PV28のゴールが決まり14-12とする。MNE34も退場し、3分を過ぎて15-13と追い上げる。3分46秒には、JPN27が7mTを確実に決め16-14とし、GK30のファインセーブもありJPNに勢いが出る。5分を過ぎ、RW7のゴールで16-15と1点差になる。JPN27のロングシュートが突き刺さり、16-16の同点になる。MNEも速いテンポでボールをつなぎ2連取して突き放す。JPNもLE18が続けて決め、19-18と必死に食らいつく。11分23分にPVで得た7mTを、MNE4が8得点目となるゴールで20-18とする。JPNもLWが決めて追いつくが、JPN28が退場しMNEが2連取して22-19と3点差になる。中盤15分には、7mTを獲得するが、MNEのGK43がスーパーセーブする。16分に再びJPN4のカットインから7mTを獲得し、今度はJPN25が確実に決めて22-20とする。18分10秒にはJPNのRW20がカットインで得点し、22-21とする。速攻から7mTを得たJPNは、27が見事に決め22-22と同点になる。19分23秒MNEはタイムアウトを申請。速いボール回しから、今後はRW7がカットインして23-23と追いつく。JPNはCP7人で攻めるが、エンブティゴールを決められ、24分16秒25-23でJPNがタイムアウト。JPNはCB81を投入し、LBのカットインで1点差にするが、MNEも7mTを獲得する。これはJPN30がスーパーセーブ。MNEは速攻やPVで引き離し、26分52秒MNE27-24JPNでJPNは3回目のタイムアウト。JPNは3-3DFにして、積極的に動くが、MNE15がRWシュートを決める。JPNはPV3が体勢を崩しながらもゴールして、28-25となげる。さらに3-3DFを高めたJPNだが、MNEは慌てずに得点し、MNE30-26JPNで試合終了。ベストオブマッチは、MNE4RADICEVIC Jovankaが獲得した。	



戦況作成者	中野 靖士
-------	-------